



TOSTEM リプラス 居室仕様・浴室仕様 アングルカバー・見切材・テラス用アタッチメント 組立て・取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意 …組立て・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。






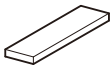





▲注意





●アングルカバーの取付けはねじの締めすぎに注意してください。
 電動ドライバー使用時は、0.5N・m {5kgf・cm}程度とし、最後は必ず手で締めてください。締めつけ過ぎるとねじが効かなくなり脱落するおそれがあります。

■部品一覧

アングルカバー

アングルカバー組立てねじ  トラスタッピン1種φ4×12	アングルカバー端部キャップ 
アングルカバー端部キャップ  ※縦・横すべり出し窓カムラッチの横引きロール網戸適応サイズの場合	アングルカバー取付補助ブロック 
アングルカバー取付補助ブロック(下)  ※テラス用アタッチメントの場合は使用しません。	アングルカバー取付補助ブロック(下) (ブリッジ枠) 
アングルカバー取付けねじ(浴室用)  皿タッピン1種φ4×20 ※枠に同梱されています。	アングルカバー取付けねじ(居室用)  皿木ねじφ3.1×20 皿木ねじφ3.1×56 (TWタイプ用) ※枠に同梱されています。
テラス用アタッチメント端部キャップ 	アングルカバーシール目地保持ブロック(浴室窓単独交換用) 
テラス用アタッチメント端部キャップ取付けねじ  なべタッピン1種φ4×25	

見切材

見切材コーナーピース 	見切材取付けねじ  皿木ねじφ3.1×20
---	--

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	ねじのゆるみ、ねじバカはないか	<input type="checkbox"/>

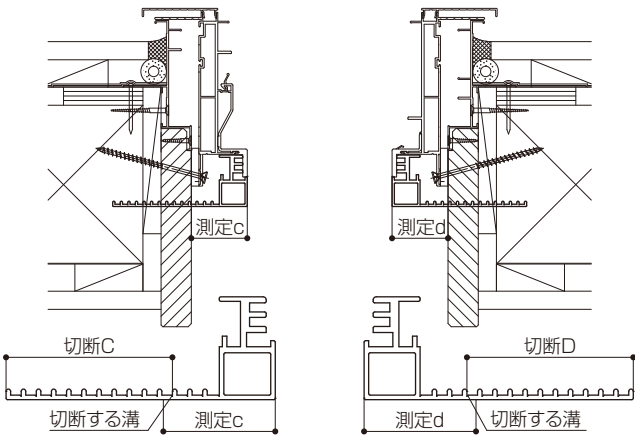
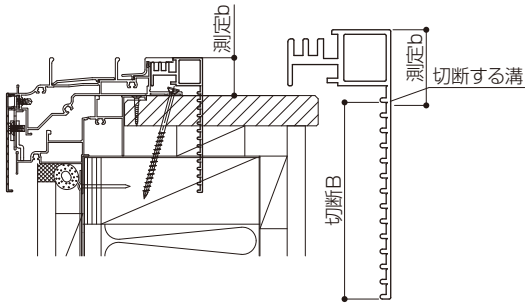
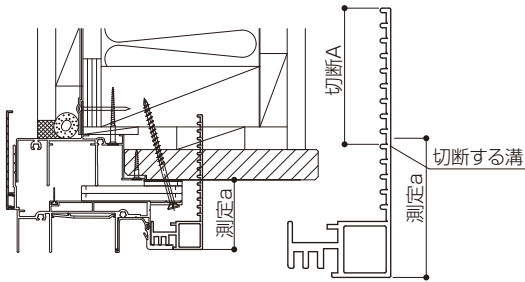
●2次元コードにアクセスいただくと、施工説明動画をご覧いただけます。動画は参考例になります。必ず説明書の手順を実施してください。



1 アングルカバーの切断寸法の確認

新設サッシ枠アングルから既設窓枠までのa～dを測定し、切断する溝を決めてください。

上枠	下枠	左縦枠	右縦枠
a	b	c	d



2 アングルカバーの加工

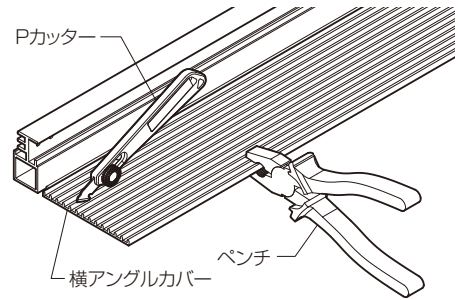
お願い

- 切断面は鋭利な部分が残らないようにヤスリなどで仕上げてください。
- アングルカバー表面が白化する可能性がありますので、十分に切目を入れ、切断する溝付近を持って、丁寧に折取ってください。

アングルカバーを決定した溝で切断してください。

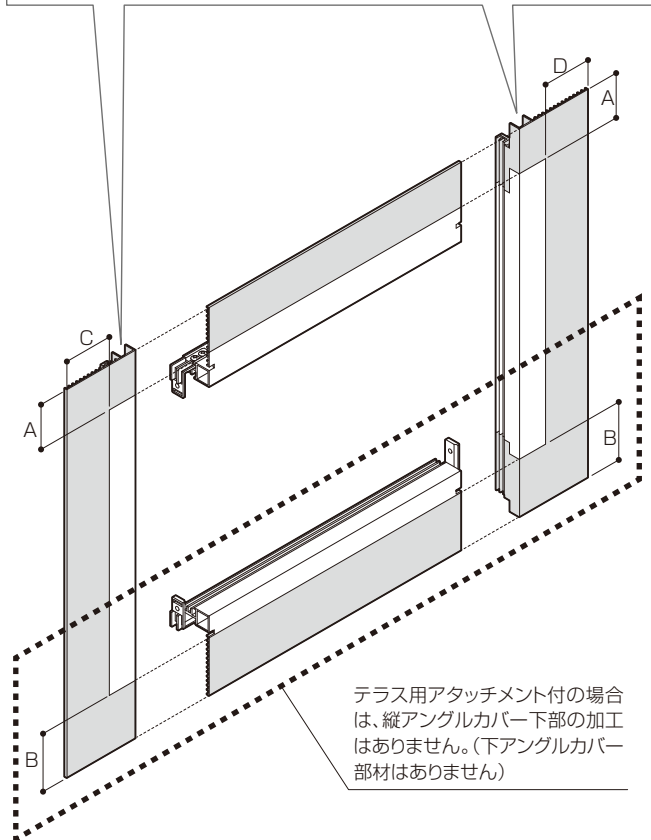
ポイント

納まりにあう溝にPカッターで切目を入れ、ペンチなどで折取ってください。



お願い

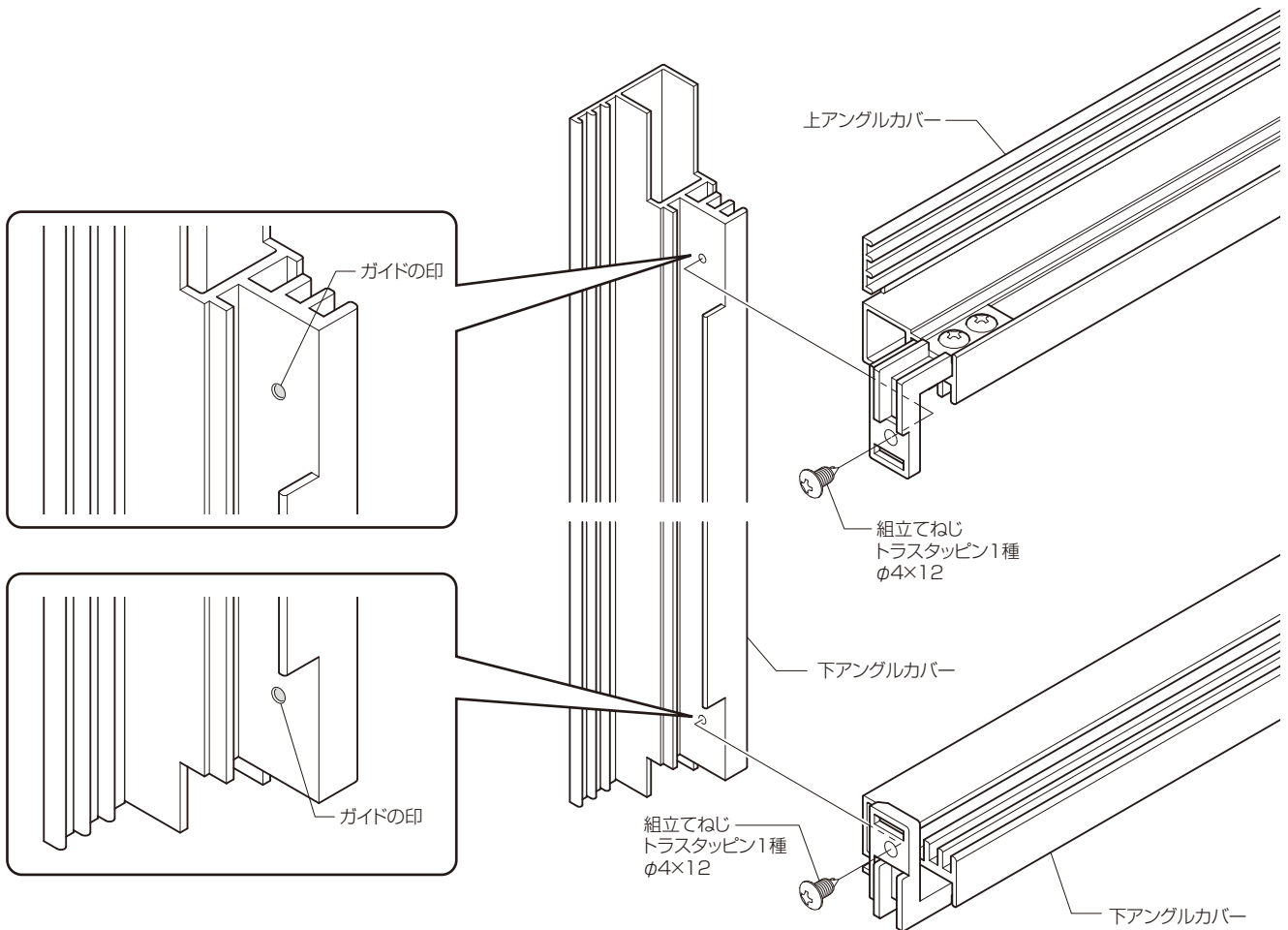
- 縦アングルカバーのL寸切詰めは、上下アングルカバーの切断に合わせて切断してください。切断した部材を当ててケガくと早く出来ます。



3 アングルカバーの組立て

アングルカバーは、分割での取付けでも組立ててからの取付けでも、どちらでも出来ます。
現場の状況にあわせて選択してください。

※組立てる場合には、ガイドの印がされているので同梱のアングルカバー組立てねじを使用してください。



※浴室 窓単独交換の場合は、P.7へ進んでください。

4 アングルカバーの取付け(居室用の場合)

<居室用の場合> ※浴室 窓単独交換の場合は、P.7へ進んでください。

①新設サッシ枠に取付補助ブロックを、枠躯体取付けねじを避けた位置におおよそ均等になるように張付けてください。

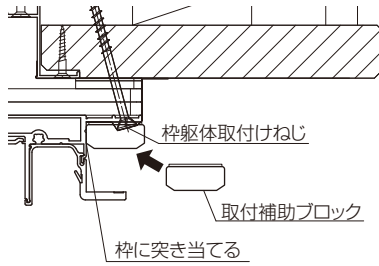
※取付補助ブロックは上・下・縦の各辺3箇所目安で入っています。

(テラス用アタッチメント付の場合は、上・縦の各辺3箇所、下はアングルねじ数に足りるように入っています。下図のように取付けてください。)

※テラス用アタッチメント付の場合は、下はP.15のテラス用アタッチメントの施工時に張付けます。

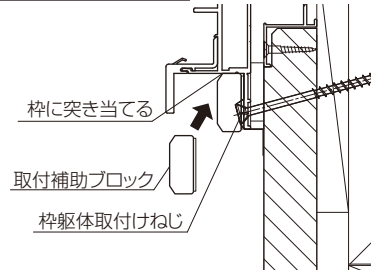
●上断面図

標準枠・ブリッジ枠・TWタイプ

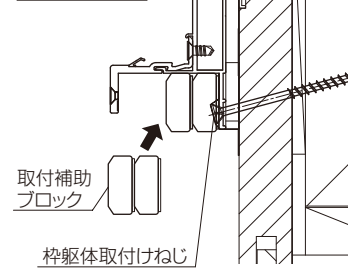


●縦断面図

標準枠・ブリッジ枠

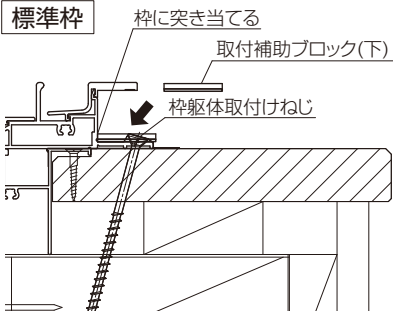


TWタイプ

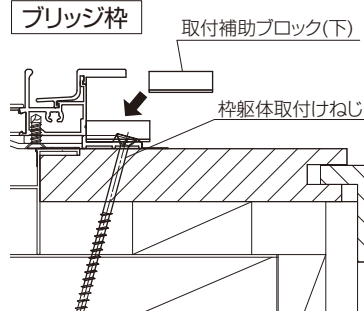


●下断面図

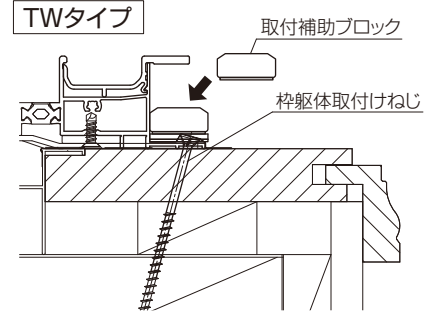
標準枠



ブリッジ枠



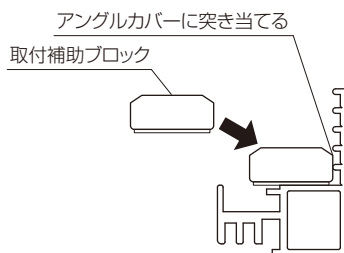
TWタイプ



※気密テープの張付け状態により平面が出ていない場合は、アングルカバーに張付けてください。

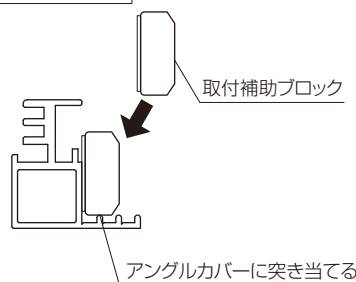
●上アングルカバー

標準枠・ブリッジ枠・TWタイプ

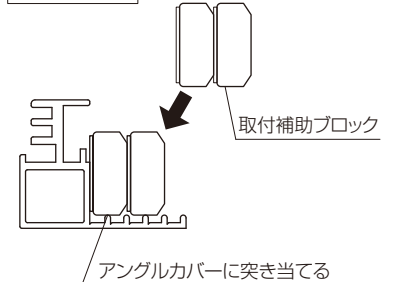


●縦アングルカバー

標準枠・ブリッジ枠

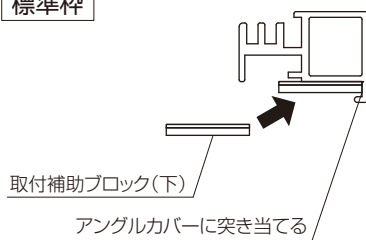


TWタイプ

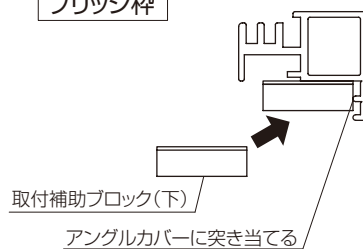


●下アングルカバー

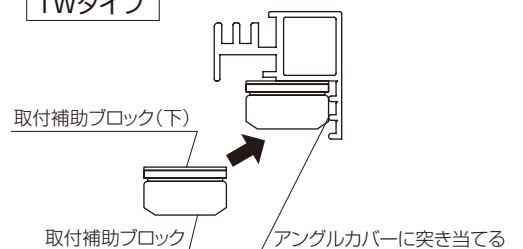
標準枠



ブリッジ枠



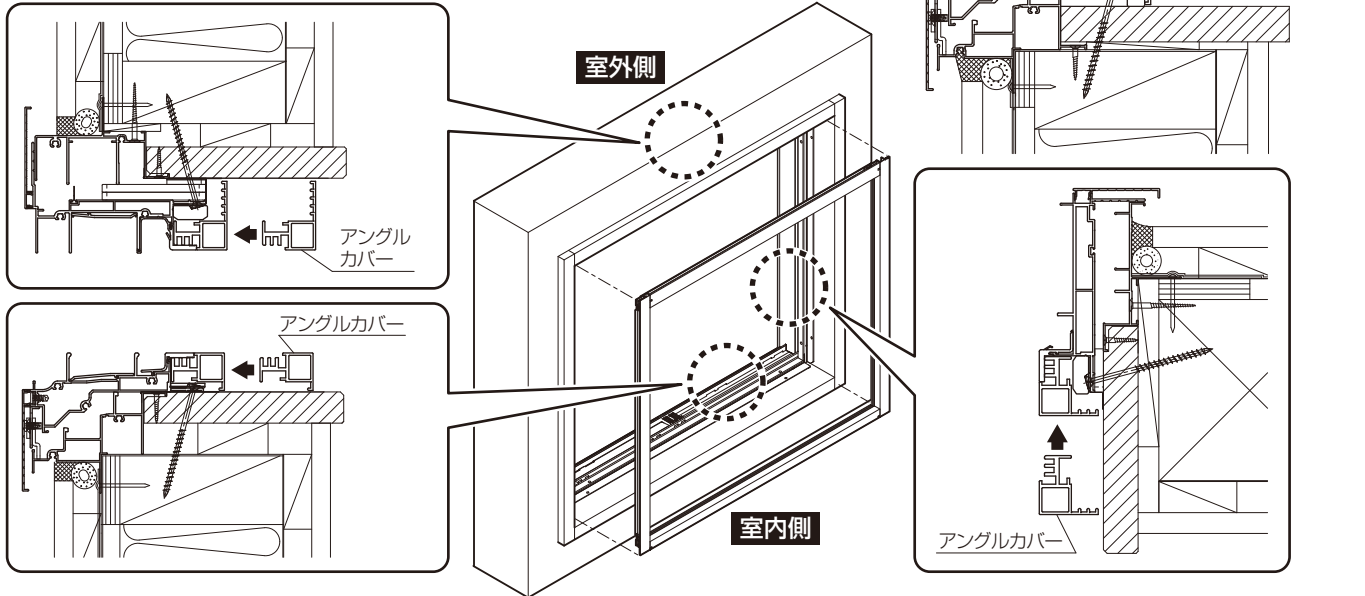
TWタイプ



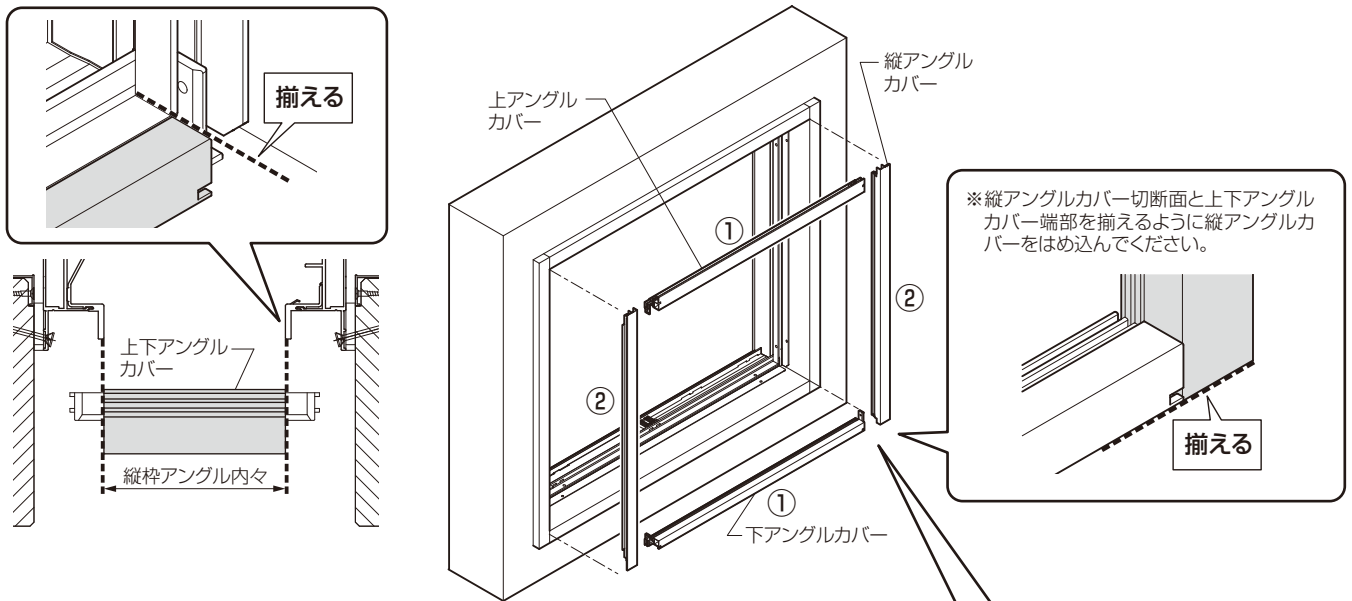
4 アングルカバーの取付け(居室用の場合)(つづき)

②アングルカバーを新設サッシ枠に取付けます。

※右図のように既設窓枠までの寸法が大きく、アングルカバーの見付けが大きくなる場合は、スペーサーなどを入れて見込みのバタつきを抑えるようにしてください。

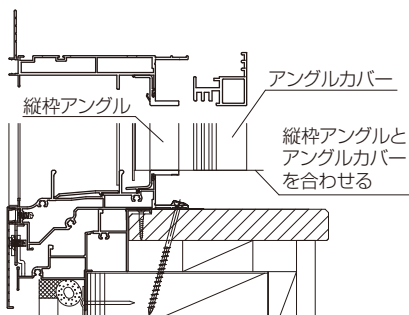


分割して取付ける場合は、上下アングルカバー→縦アングルカバーの順に取付けます。上下のアングルカバーは、新設サッシ縦枠アングル内々に左右均等になるように取付けます。



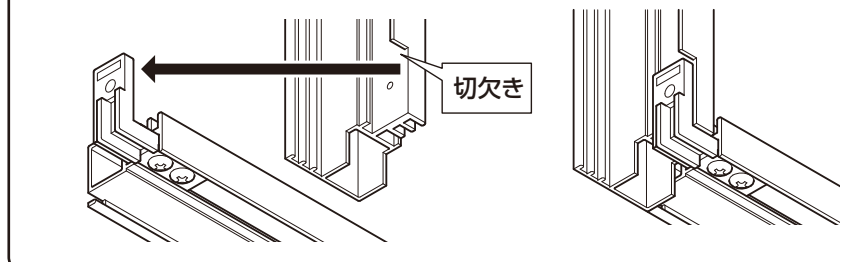
●テラス用アタッチメント付の場合

縦アングルカバー端面は縦枠アングル端面に合わせて取付けてください。



※上下アングルカバー端部部品を避けるように、縦アングルカバー裏面が切欠きされています。

※はめ込み後の納まり参考図



4 アングルカバーの取付け(居室用の場合)(つづき)

③新設サッシ枠の取付け穴に合わせてアングルカバーに下穴($\phi 1.5 \sim 2$)をあけ、取付けねじで固定してください。

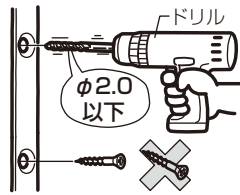
⚠ 注意



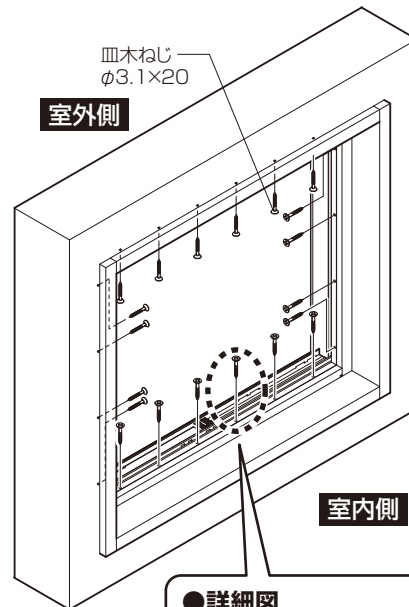
●ねじの締めすぎに注意してください。電動ドライバー使用時は、 $0.5\text{N} \cdot \text{m}$ ($5\text{kgf} \cdot \text{cm}$)程度とし、最後は必ず手で締めてください。締めつけ過ぎるとねじが効かなくなり脱落するおそれがあります。

お願い

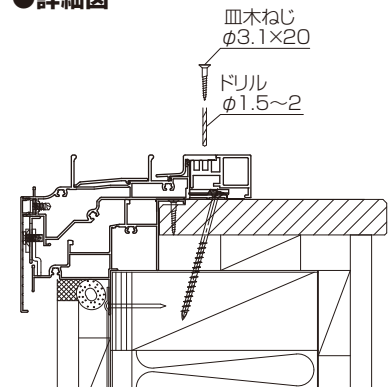
●ねじはまっすぐにねじ込んでください。



※居室用の場合は、P.10へ進んでください。



●詳細図

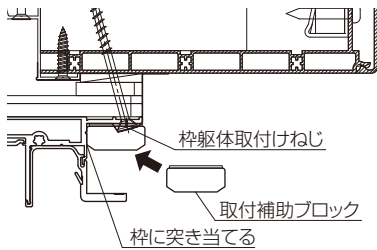


4 アングルカバーの取付け(浴室 窓単独交換の場合)

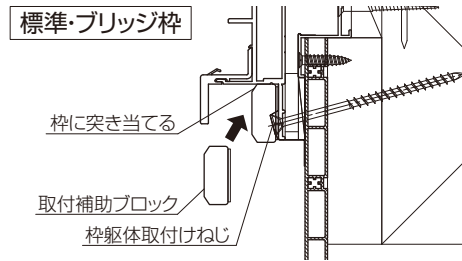
<浴室 窓単独交換の場合>

- ①新設サッシ枠に取付補助ブロックを、枠躯体取付けねじを避けた位置におおよそ均等になるように張付けてください。
 ※取付補助ブロックは上・下・縦の各辺3個目安で入っています。

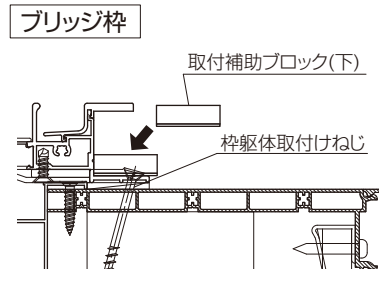
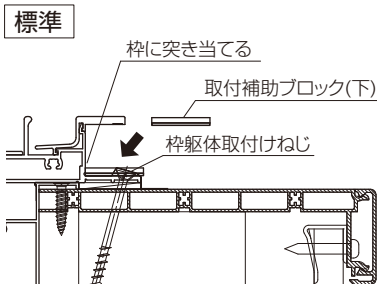
●上断面図



●縦断面図

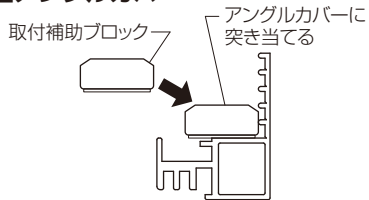


●下断面図

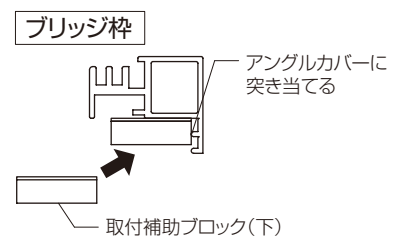
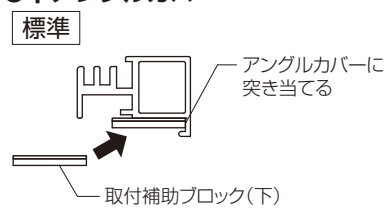


※気密テープの張付け状態により平面性が出ていない場合は、アングルカバーに張付けてください。

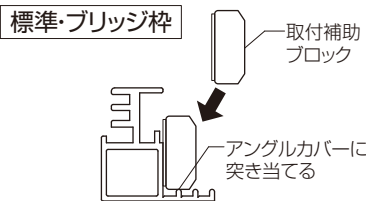
●上アングルカバー



●下アングルカバー

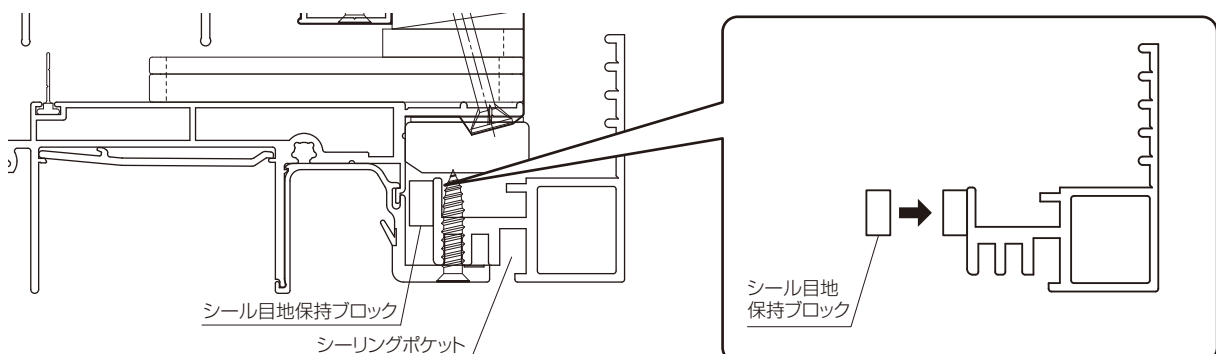


●縦アングルカバー



- ②新設サッシ枠とアングルカバー間の止水のため、アングルカバーにシール目地保持ブロックをおおよそ均等になるように張付けてください。

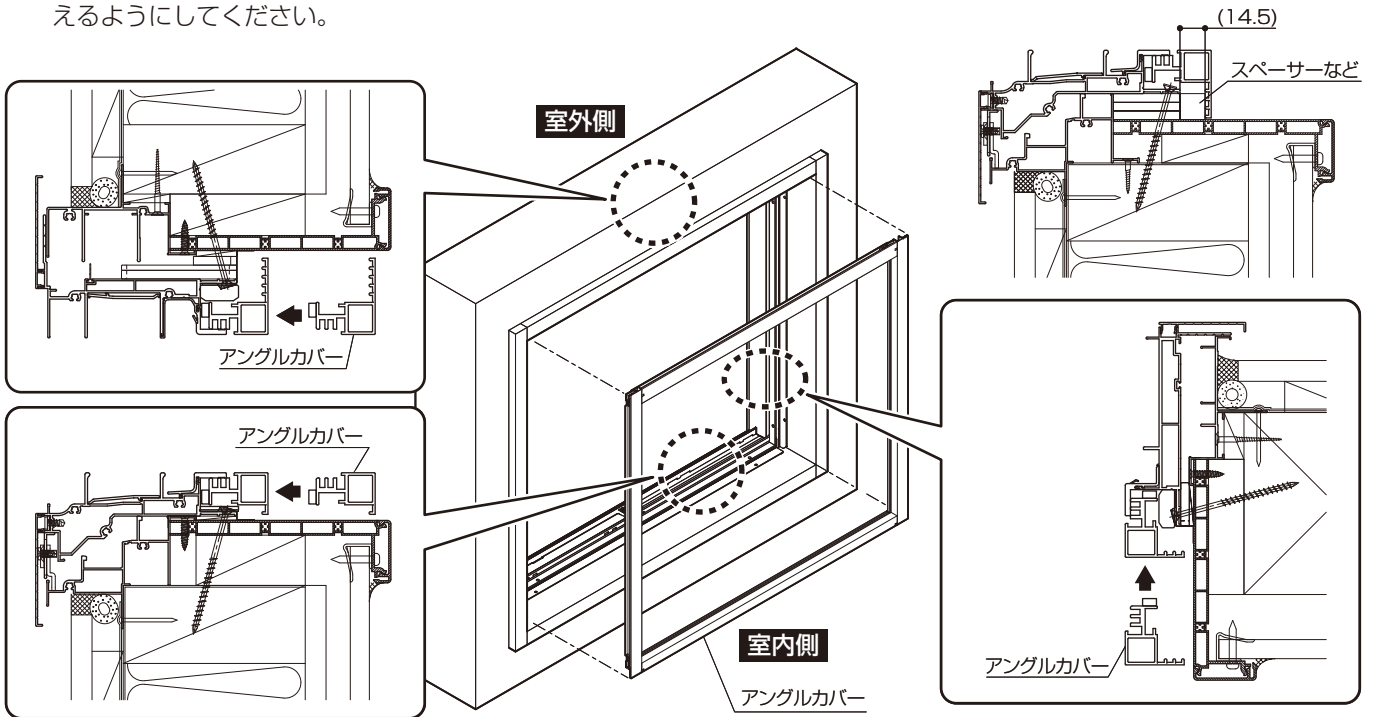
※シール目地保持ブロックは上・下・縦の各辺3ヶ目安で入っています。



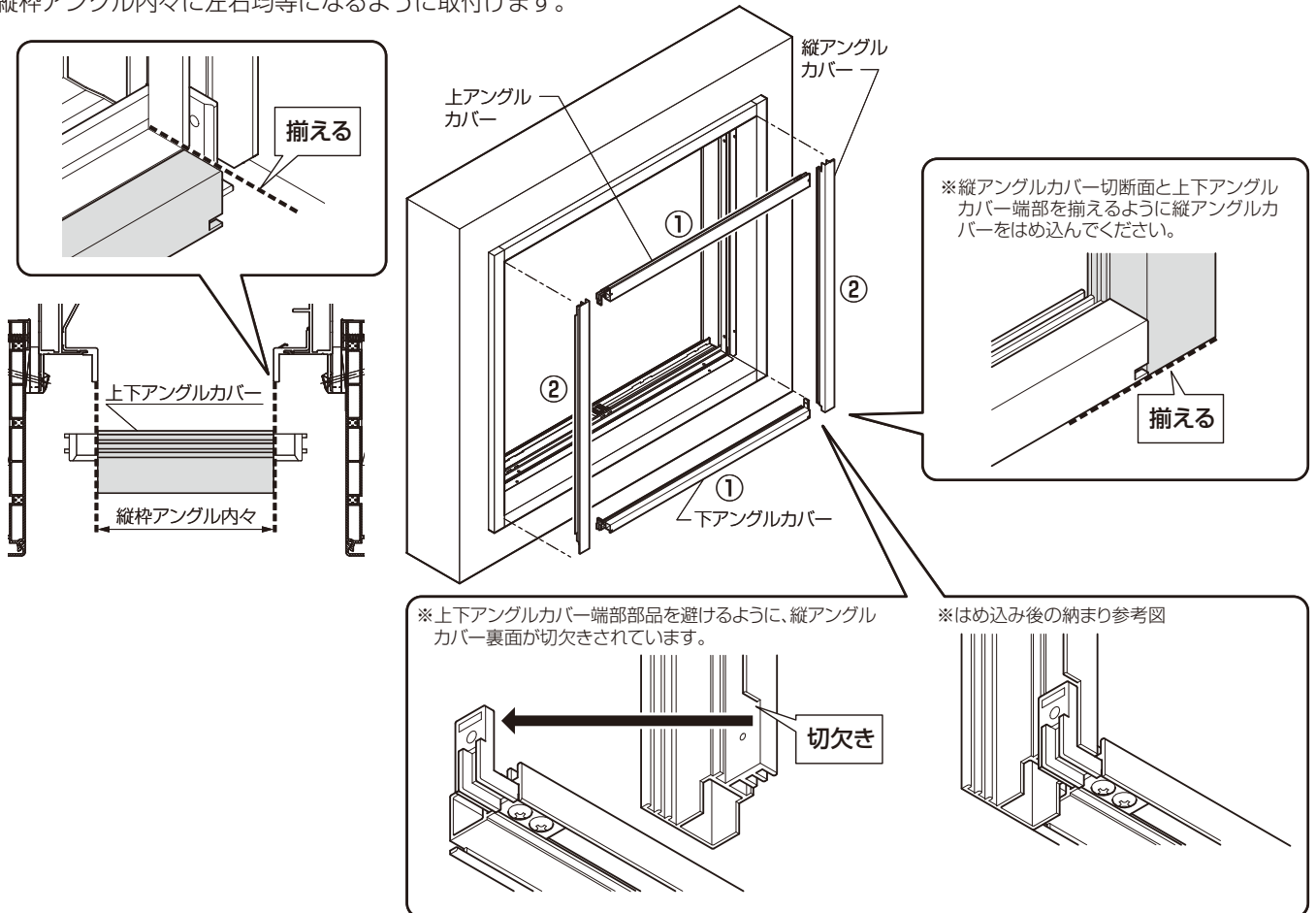
4 アングルカバーの取付け(浴室 窓単独交換の場合)(つづき)

③アングルカバーを新設サッシ枠に取付けます。

※右図のように既設窓枠までの寸法が大きく、アングルカバーの見付けが大きくなる場合は、スペーサーなどを入れて見込みのバタつきを抑えるようにしてください。



分割して取付ける場合は、上下アングルカバー→縦アングルカバーの順に取付けます。上下のアングルカバーは、新設サッシ縦枠アングル内々に左右均等になるように取付けます。



4 アングルカバーの取付け(浴室 窓単独交換の場合)(つづき)

④新設サッシ枠の取付け穴に合わせてアングルカバーに下穴(ϕ 1.5~2)をあけ、取付けねじで固定してください。

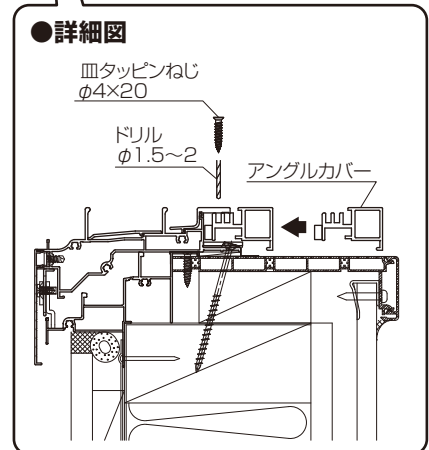
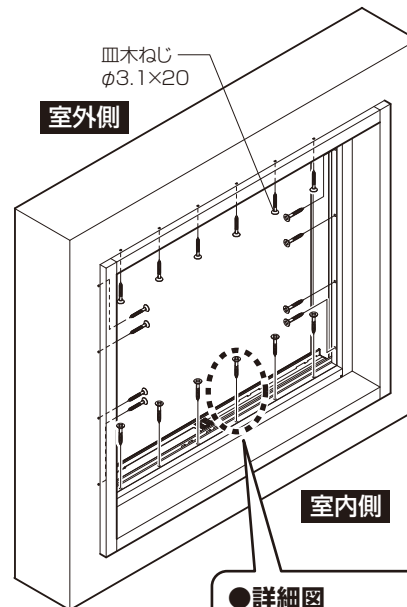
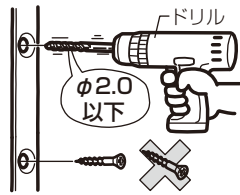
⚠ 注意



●ねじの締めすぎに注意してください。電動ドライバー使用時は、 $0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)程度とし、最後は必ず手で締めてください。締めつけ過ぎるとねじが効かなくなり脱落するおそれがあります。

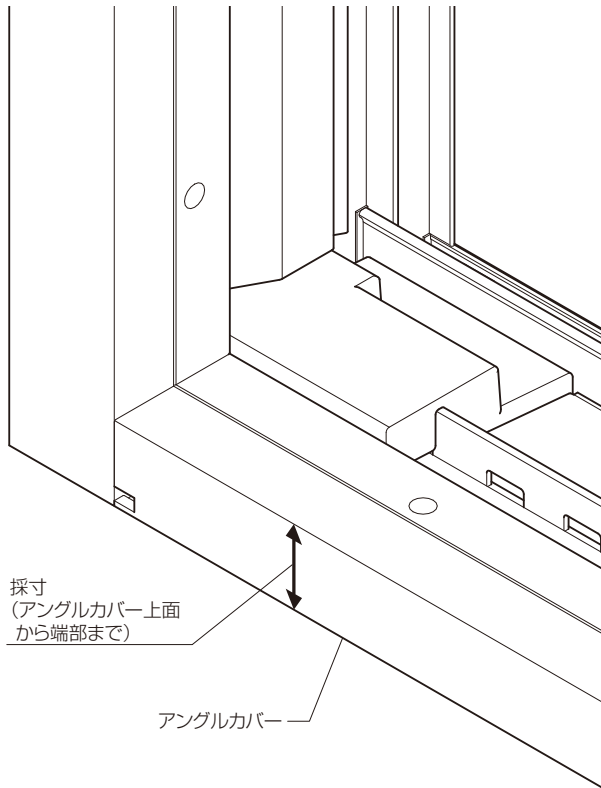
お願い

●ねじはまっすぐにねじ込んでください。

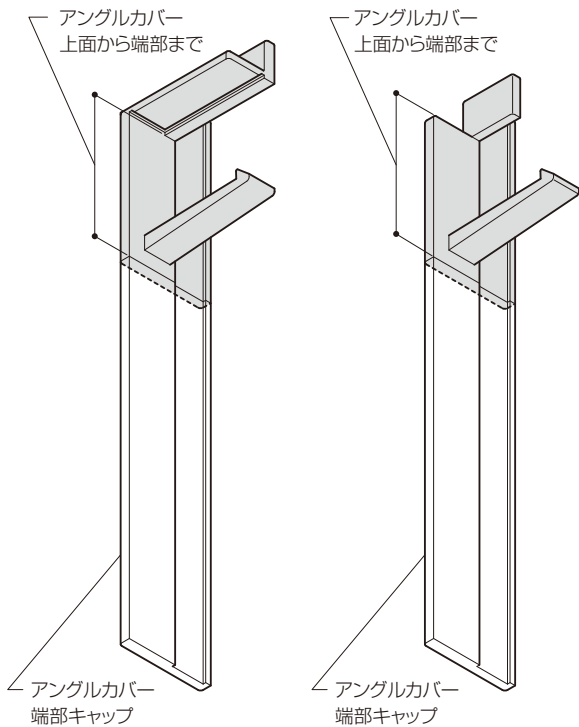


⑤ アングルカバー端部キャップの加工(見切材なしの場合)

※見切材ありの場合は、P.12へ進んでください。
端部キャップをアングルカバーに合せて切断してください。



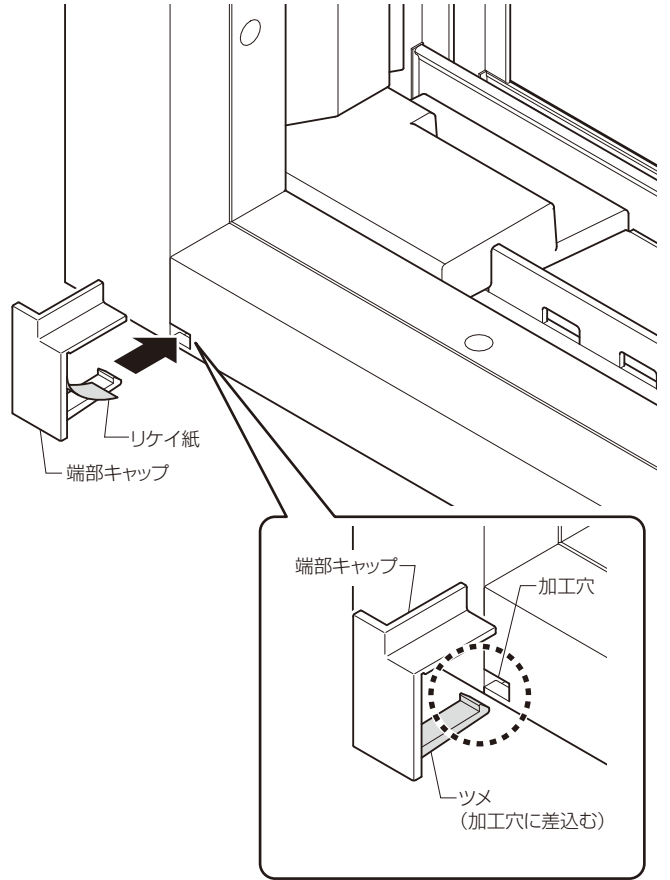
● 縦・横すべり出し窓 カムラッチ横引き ロール網戸の場合



※横引きロール網戸を使用しない場合は、FIX窓minサイズの
アングルカバー部品セットを別途手配してください。

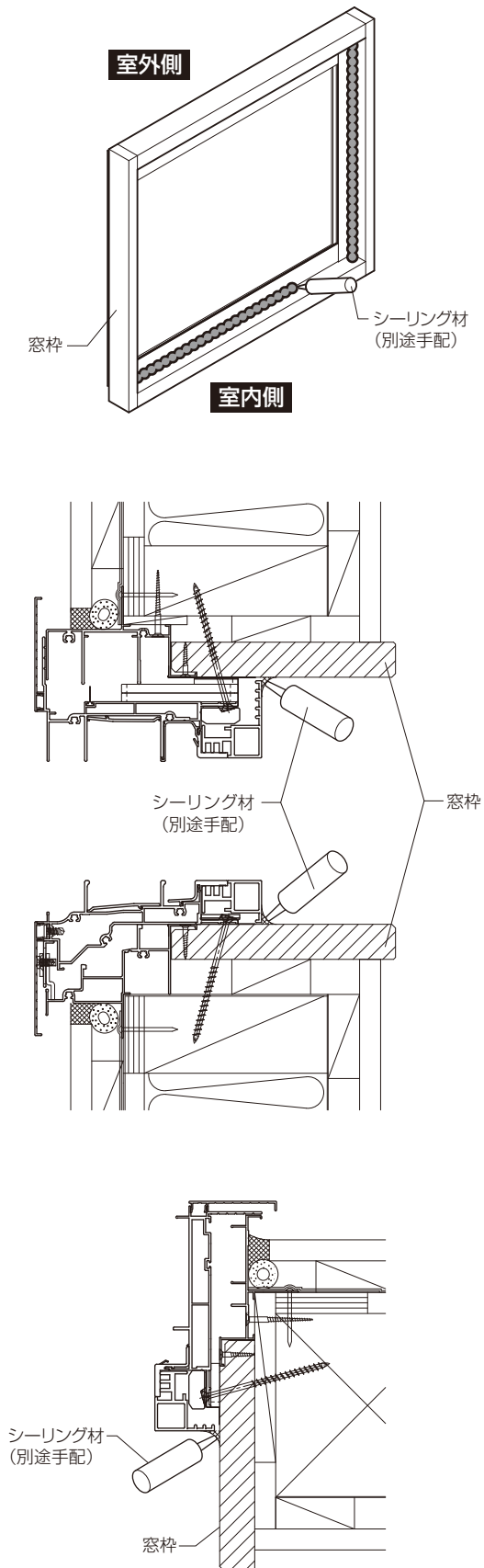
⑥ アングルカバー端部キャップの取付け(見切材なしの場合)

端部キャップのリケイ紙をはがして、端部加工穴に差込み、
張付けてください。



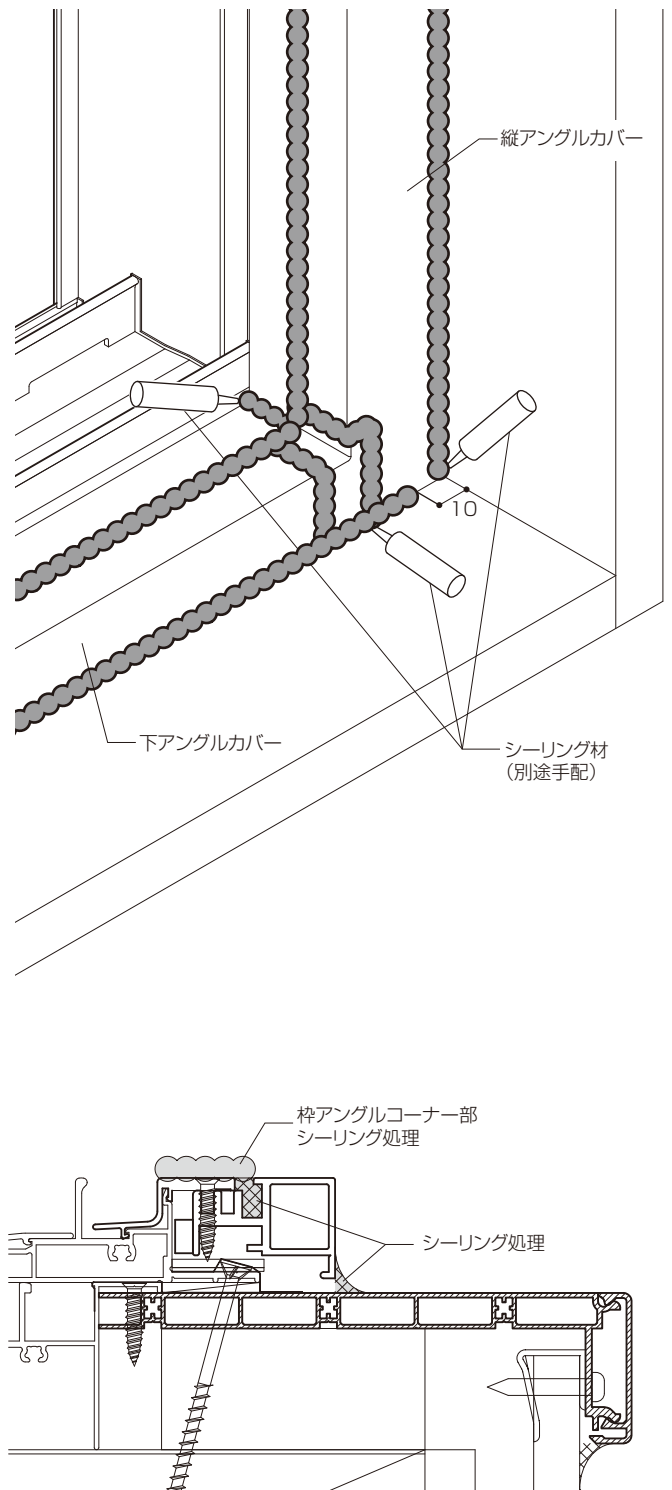
7 アングルカバーのシーリング処理(見切材なしの場合)

①窓枠とアングルカバーのすき間をシーリング処理してください。



■浴室 窓単独交換の場合

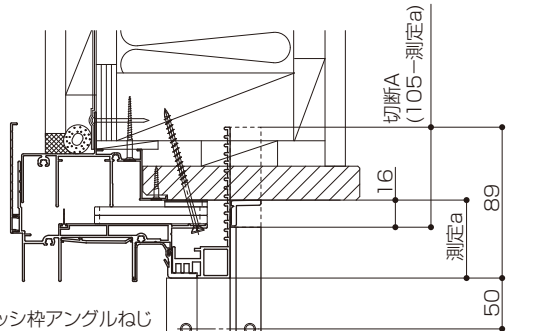
排水経路を確保するため、アングルカバーの下側両端部10mmはシーリングしないでください。



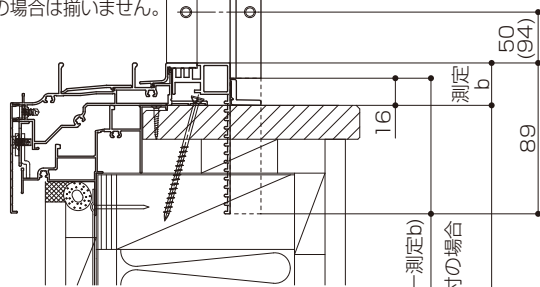
8 見切材の切断寸法の確認(見切材ありの場合)

1で測定したa～dから、切断A～Dを決めてください。

	上枠	下枠	左縦枠	右縦枠
採寸	a	b	c	d
切断	A(105-a)	B(105-b) ※B(89-b)	C(105-c)	D(105-d)

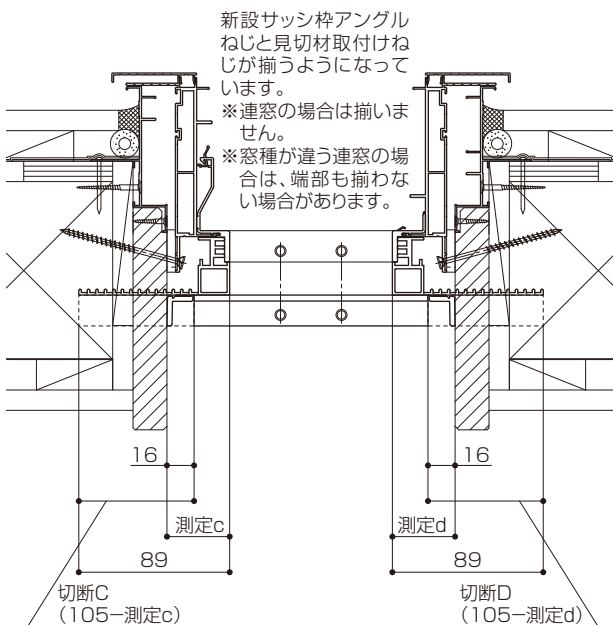


新設サッシ枠アングルねじと見切材取付けねじが揃うようになっています。
※段窓の場合は揃いません。



※縦・横すべり出し窓オペレーター用の場合は、新設サッシに合わせて端部からの穴位置が異なります。(上記()寸法)、端部からの寸法が小さい方が上側になり、穴加工裏面に「上」シールが張付けてあります。

※テラス用アタッチメント付の場合
切断B(89-b)



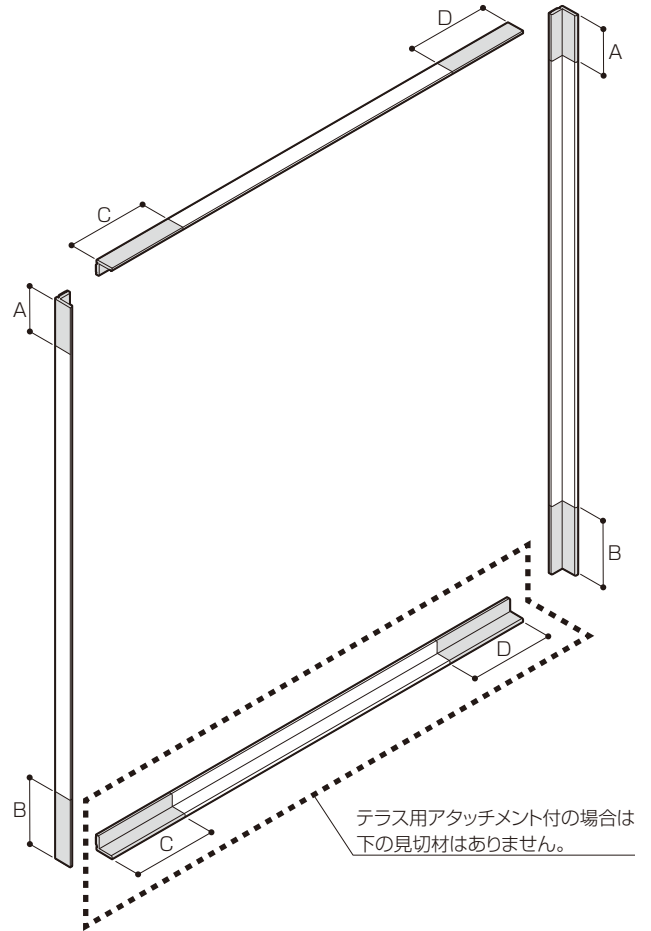
新設サッシ枠アングルねじと見切材取付けねじが揃うようになっています。
※連窓の場合は揃いません。
※窓種が違う連窓の場合は、端部も揃わない場合があります。

9 見切材の加工

見切材を決定したA～Dに合わせて切断してください。

お願い

- 切断小口は鋭利は部分が残らないようにヤスリなどで仕上げてください。
- 見切材は上下寸法、左右寸法をそれぞれ端部から切断機などで切断してください。合計の切断寸法で片側から切断すると、新設サッシ枠のアングルねじと見切材固定ねじの位置にズレが発生します。



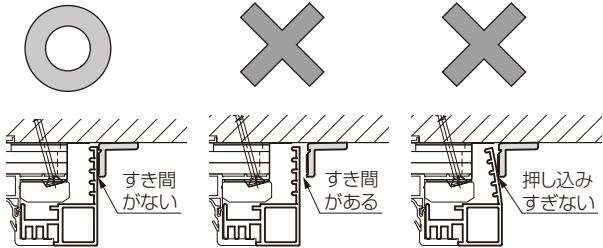
テラス用アタッチメント付の場合は下の見切材はありません。

見切材の取付け

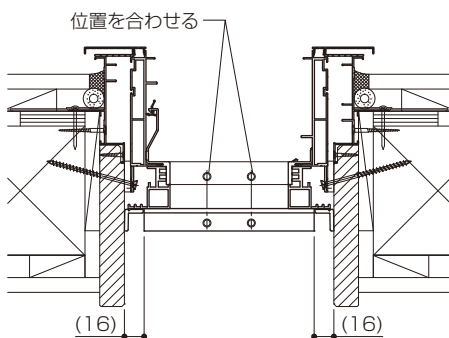
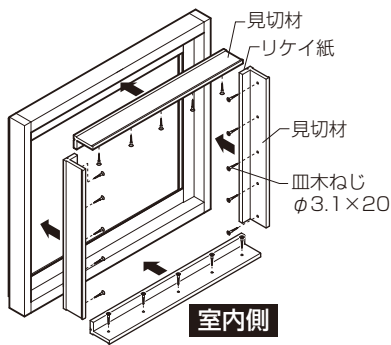
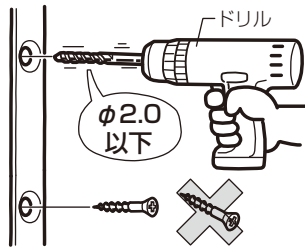
- ①見切材のリケイ紙をはがして、窓枠に当ててスライドさせながらアングルカバーとすき間が出ないようにアングルカバーに押し付けて圧着してください。
※新設サッシ枠のアングルねじ穴と見切材の取付け穴位置を合わせて固定します。
- ②圧着したら、取付け穴に合わせて窓枠に下穴(φ1.5~2)をあけ、取付けねじでねじ止めします。

お願い

- 見切材はすき間なく取付けてください。その際、見切材を押し込んで、アングルカバーが曲がらないようにしてください。

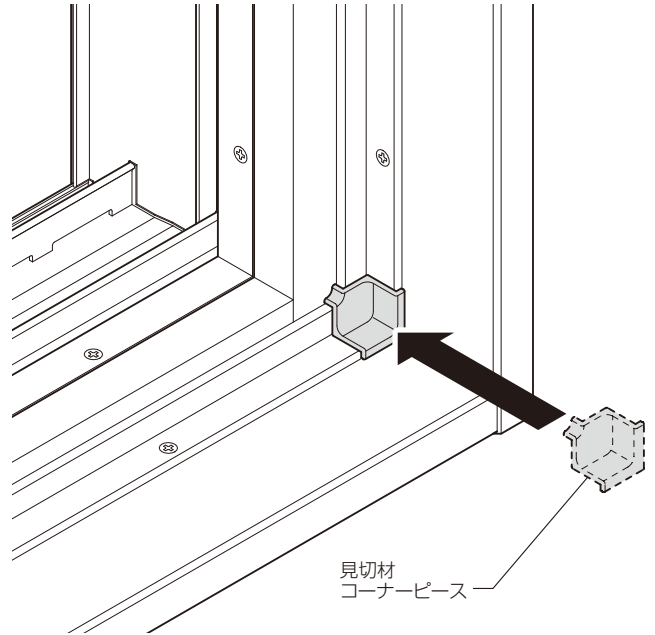


- ねじはまっすぐにねじ込んでください。
- ねじの締めすぎに注意してください。



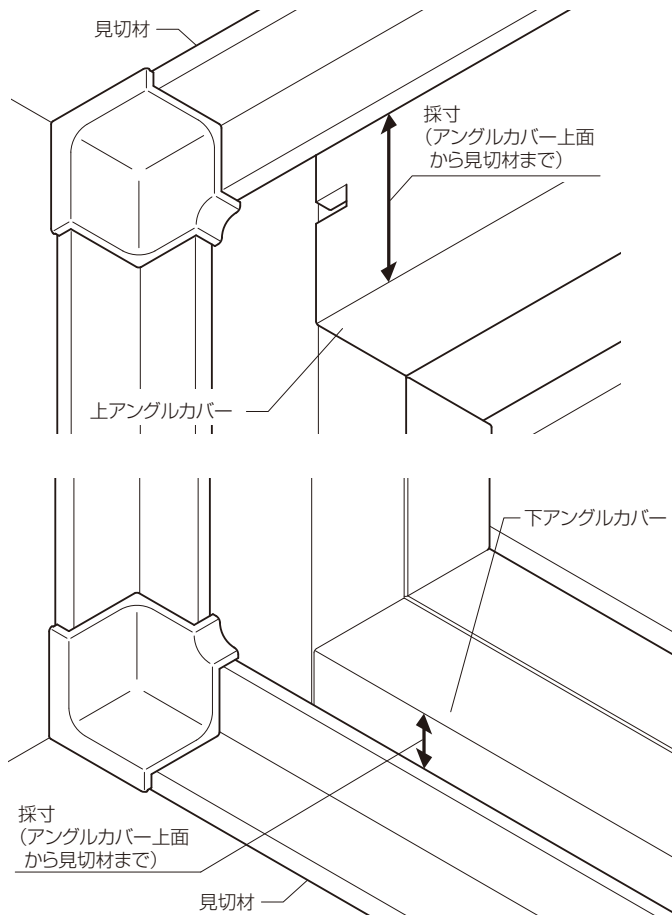
見切材コーナースピースの取付け

- ①見切材コーナースピース取付け部を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
- ②裏面のリケイ紙をはがし、見切材コーナースピース部に合わせます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
- ③窓枠に強く押し付けて圧着します。

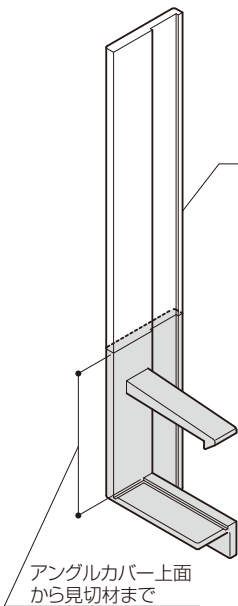


⑫ アングルカバー端部キャップの加工(見切材ありの場合)

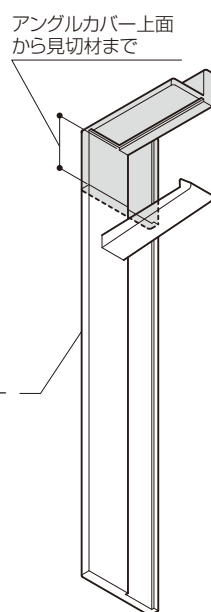
端部キャップをアングルカバー・見切材に合わせて切断してください。



【上側】



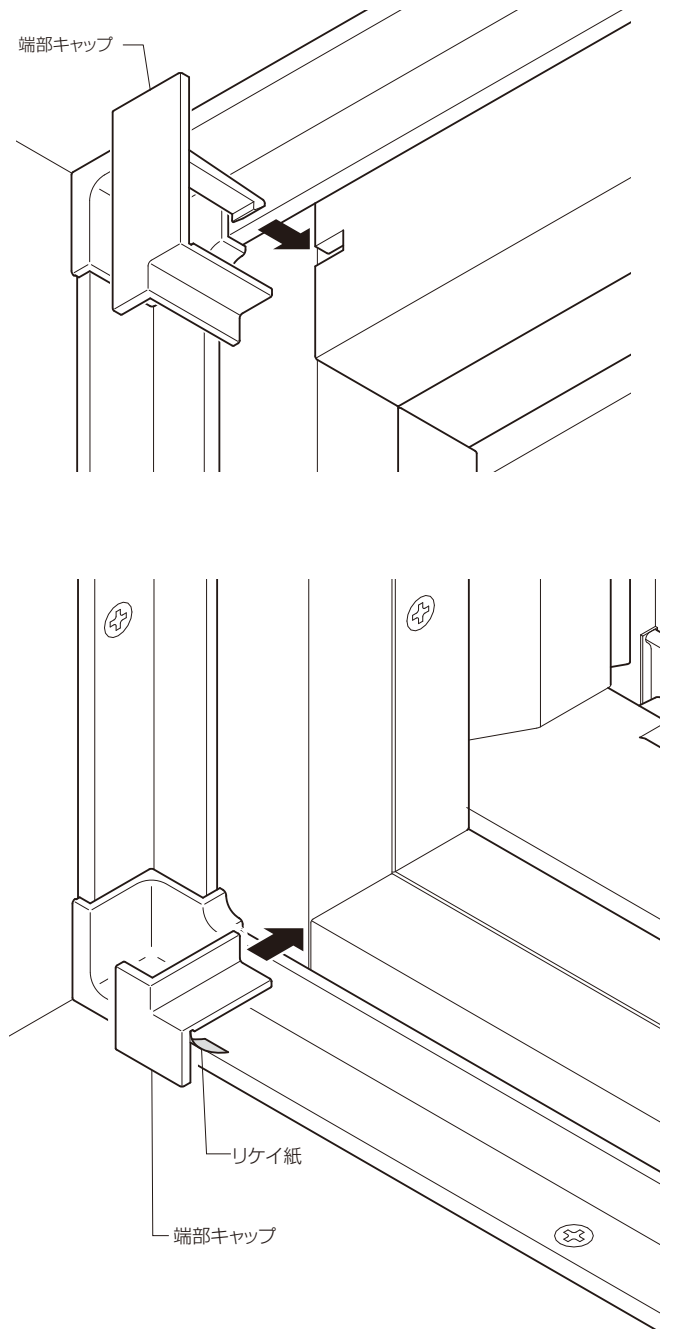
【下側】



- ※図は通常のアングルカバー端部キャップを示します。縦・横すべり出し窓カムラッチ横引きロール網戸の場合は、形状が異なりますが手順は同じです。
- ※横引きロール網戸を使用しない場合は、FIX窓minサイズのアングルカバー部品セットを別途手配してください。

⑬ アングルカバー端部キャップの取付け(見切材ありの場合)

端部キャップのリケイ紙をはがして、端部加工穴に差し込み、張付けてください。



※見付け寸法が小さい場合は、両面テープのみでの取付けになります。

14 テラス用アタッチメント・高さ調整材の加工

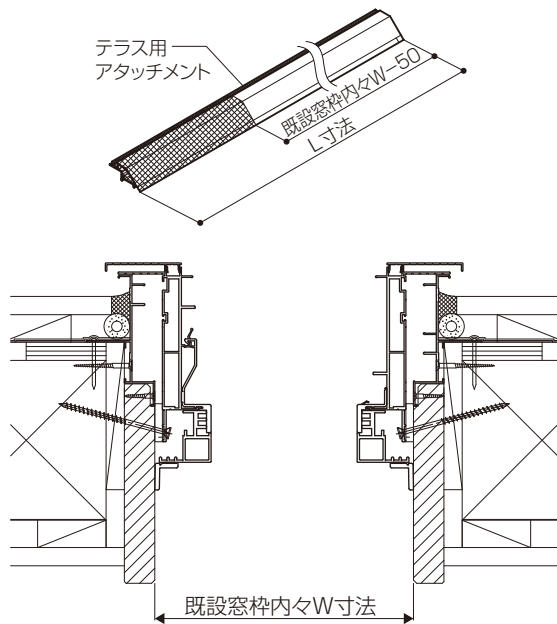
① 既設窓枠の内々寸法を採寸し、テラス用アタッチメントを切断します。

切断長さは、図を参考に切断機などで切断してください。

※ 窓枠・床がしゃくり付きの場合、高さを合わせるため、図を参考に組立てる前に、部材、部品を切断してください。

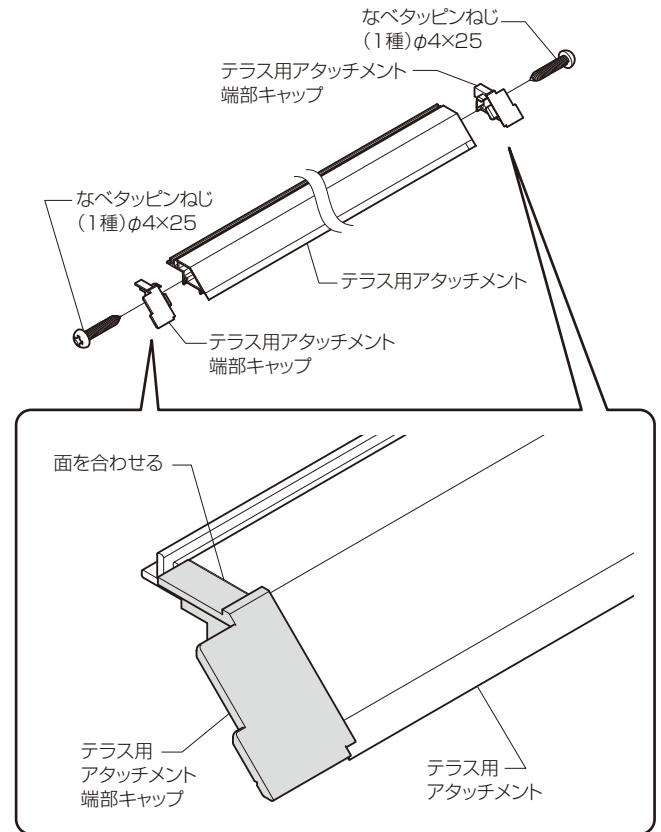
・ テラス用アタッチメントを溝に合せてPカッターで数回切れ目を入れ、ペンチなどで折るようにして形材を切断してください。

・ テラス用アタッチメント端部キャップを溝に合せてカッターなどで切断してください。

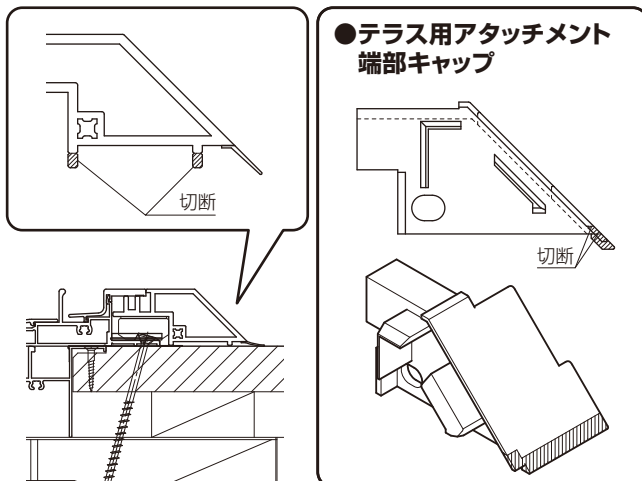


15 テラス用アタッチメントの取付け

① テラス用アタッチメントの両端にテラス用アタッチメント端部キャップを差込み、面を合わせながらなベタッピンねじ(1種)φ4×25で固定します。



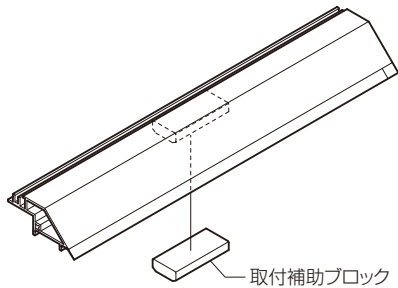
●しゃくり付きの場合



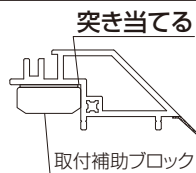
④テラス用アタッチメントの取付け(つづき)

- ②縦の見切材を取付けた後に、テラス用アタッチメントに、取付補助ブロックを枠アングルねじを避けた位置にアングルねじの数だけ張付けてください。
 - ③組立てたテラス用アタッチメントを新設サッシ下枠にはめ込みます。
 - ④新設サッシ下枠の取付け穴に合わせてテラス用アタッチメントに下穴($\phi 1.5\sim 2$)をあけ、皿木ねじ $\phi 3.1\times 20$ で固定してください。
- ※下穴をあける際は、アングルの穴にキズを付けないようにしてください。

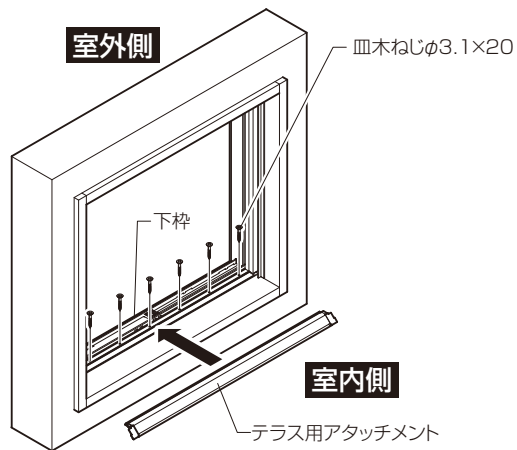
②



●断面図



③



④

